

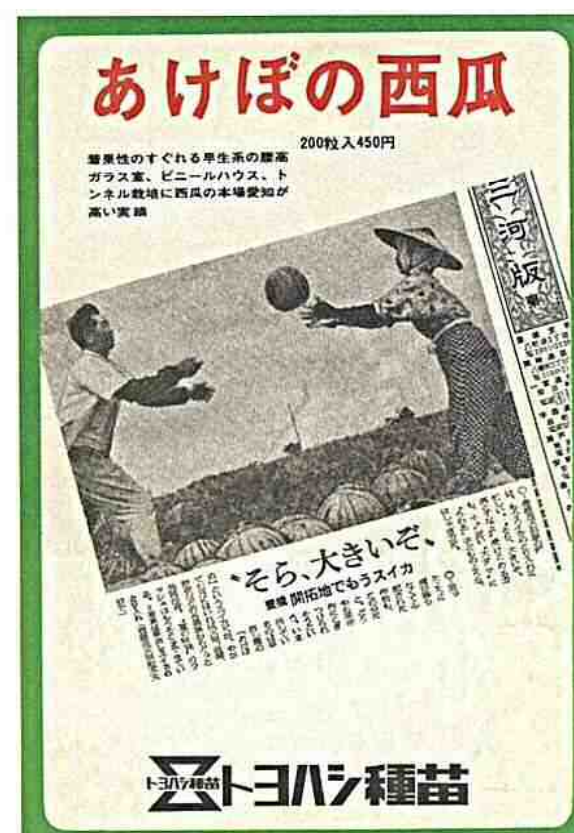
創業期の取り扱い商品三本柱

■種子

自分の畑で野菜の種子を採種するのが普通だった農家も、戦後の時代に入り、種苗店から種子を買う時代へと移っていった。それを可能にしたのは、F1（一代雑種）の開発による。F1を用いることの利点としては、栽培が安定し、一定の収量が得られること、交雑育種により優良品種の育成が可能であることなどがあげられる。

種子は遺伝学上の法則（優性の法則）により雑種一代目はハイブリッドの均一な性質があらわれる。野菜、花では一代雑種（F1）種子の利用が盛んとなり、日本のF1品種の育成利用は、野菜の分野で最も進んでおり、国際的にも高い評価を受けつつあった。

さらにバイオテクノロジー（生物工学）により、農業分野では細胞融合等で新しい植物の創造が可能となり、質的転換をもたらす時代に突入しようとしていた。



昭和44年「タネ&資材春号」

創業期

I

トヨハシ種苗(株)設立

正) 近藤寿市郎

昭和43年という時代① 豊川用水の開通

東三河の農民は、昔から旱魃と水不足に悩まされてきた。特に渥美半島では大きな川がなく、日照りが続くと水不足の連鎖に陥っていた。大正から昭和にかけての政治家、**近藤寿一郎**（赤羽根町出身）は、視察で訪れたインドネシアで見た水利事業にヒントを得て、豊川上流の鳳来町（現・新城市）にダムを建設し、貯めた水を東三河に導水する「豊川用水」の実現に尽力する。昭和24年から宇連ダムをはじめとする国営事業として豊川用水の建設工事が始まった。昭和33年には農業用水だけではなく、水道用水や工業用水の開発が追加され、昭和36年に愛知用水公団に引き継がれ、昭和43年、ついに全面通水に至った。

豊川用水が全面通水した後の、この地域の産業発展にはめざましいものがあり、農業分野においては豊川用水の恩恵を受けて営農形態は一変。施設園芸

など近代的農業を取り入れる地域の努力もあり、渥美半島は全国有数の農業生産地となった。

昭和43年4月に豊川用水全面通水、そして同年11月1日にトヨハシ種苗という新会社がスタート。豊川用水の出現によって地域が急激に変化の時を迎え、トヨハシ種苗も会社設立を急いだ理由がここにあると思われる。

昔は慢性的な水不足のために、サツマイモや麦、陸稲のみを栽培していた渥美半島は、豊川用水通水後はキャベツ、白菜、ブロッコリー、メロン、花、電照菊などの施設園芸に大きく舵を切り、農業を取り巻く環境は劇的に変化した。もともと冬に温暖な気候で日照量も十分あったために、野菜の生育も良好で、高度経済成長の時代とも相まって野菜の消費も伸び、全国有数の農業地帯に発展していった。

Column

松阪営業所の開設

トヨハシ種苗では以前から三重県方面へ伊勢湾フェリーを使って営業販売活動をしており、徐々に販路を開拓しつつあった。鳥羽志摩農業協同組合を通してビニールハウスの販売が続いたが、昭和56年、南に行くにも北に行くにもちょうど交通の便の良い松阪に、営業所を開設する運びとなった。場所は松阪市立田町である。浜岡営業所開設の翌年、昭和56年(1981)のことであつた。

松阪周辺はトマト、花き、水稻の栽培が盛んで、ビニールハウスや資材の需要も多かった。三重県は地域的に関西圏であるため、営業社員は言葉(方言)の違いに困惑する場面もあったが、粘り強い営業活動を続け、着実に販路を開拓していった。浜岡営業所と同じく、新設された営業所の所長には20代の若手を抜擢し、やる気を引き出したことも躍進につながった。



松坂営業所 ← 正) 松阪営業所

15周年記念 本社落成披露

昭和58年(1983)秋、トヨハシ種苗は会社設立15周年を迎えた。社長以下従業員数約100名、資本金1億円、年商40数億円にも達し、小売り業界ではナンバーワンの会社に成長した。

かねてより、旧社屋の北隣に15周年の成果ともいうべき社屋



本社落成披露祝賀会



昭和58年(1983)本社新社屋



1998 ▶ 2003

	1998	平成10年	世相	当時の出来事	農業
2月	郵便個別番号441-3517 ↔ 正) 441-8517	長野オリンピック冬季大会開催			改正種苗法、第142回国会で成立
6月～7月	30周年記念海外旅行	金融破綻、官僚汚職			5年振りコメ不作
7月	ナーセリー部門に「ナエピット」2基設置 有価証券の評価方法の届出書(豊橋税務署)	世界最長明石大橋開通			新農業基本法答申
12月	30周年記念農場フェア	北陸、東北47年振り「梅雨明け」宣言なし			
		中国の長江流域史上最悪の大水害発生			
7月	三代目代表取締役社長 二村 誠就任	男性の失業率5%に			食料、農業、農村基本法公布
11月	取締役副会長 福井利男 秋の叙勲受章(勲五等瑞寶章)	国歌、国旗法が成立			中国昆明で世界園芸博覧会開催
		東海村で臨界事故			(社)日本種苗協会 金子善一郎会長急逝
		銀行の大型再編成相次ぐ			
2月	福井副会長叙勲受章祝賀会開催	北海道有珠山33年振り噴火			ジャパンフローラ2000淡路花博覧会開催
4月	東高田町200 第五圃場19.7ha賃借契約	警察、自衛隊不肖事故相次ぐ			ジャパンフラワーフェスあいちinとよはし
9月	研究農場、ナーセリー部門にハウス5棟 2,725㎡増設	小淵総理大臣入院、死去			第22回JA全国大会で「農と共生の世紀づくり」宣言
5月	業績向上プログラム導入	米中枢同時テロ発生			一般セーフガード3品目暫定発動
10月	厚生労働大臣表彰(勤労統計調査)	アフガンのタリバン政権空爆			狂牛病(BSE)確認
12月	静岡県引佐郡細江町に土地4,184.78㎡、 建物2棟374.51㎡、158.99㎡購入	不審船ロケット弾発射、爆破沈没			株式会社も農業法人の一形態
		皇太子殿下ご夫妻に敬宮愛子さん誕生			種苗業界に対し公正取引委員会入る
5月	社内組織改革、営業所ブロック制渥美SC を営業所に改組 浜松営業所、豊橋営業所開設	ペイオフ(定期預金払戻保証額)実施			食品の産地表示、不正不当、不当表示相次ぐ
6月	ナーセリー部門にハウス1棟、順化管理室 1棟建設	史上初の日朝首脳会談、拉致被害者24年振帰国			全国で無登録農薬販売発覚 種苗業界で3人の逮捕者
8月	豊川営業所大堀町に移転	ノーベル賞W受賞(小柴昌俊、田中耕一)			種苗会社32社に公正取引法律違反の勧告書
		年間の失業率5.4%最悪			
2月	東高田町166 第6圃場20a賃貸契約	米スペースシャトル「コロンビア」空中分解事故			改正農薬取締法施工
4月	名古屋国税局税務調査	イラク戦争勃発			(社)日本種苗協会組織再編成
5月	新経営計画発表	イラク復興支援特措法国会承認			異常低温被害により「米」10年振り不作
6月	35周年記念旅行 研究農場ビニールハウス3棟700㎡建設	東海道新幹線品川駅 秋営業開始			
11月	35周年展示会				